|  |  |
| --- | --- |
| 響流の森　だより　（園長室だより）　　 | 平成 30年 4 月23日附属幼稚園　第1号発 行 者　八谷俊一郎 |
| これから1年間仮園舎住まい大変長らくお待たせしました。仮園舎完成の遅れで、3月末に予定していた引越しを、運送会社と交渉の結果、何とか４月５日を確保し、全職員１日掛かりで引っ越しを終えたところでした。そこで、始園式や入園式の準備をするために、例年より１週間遅い開始としました。子どもたちや保護者の皆様には、１か月の長い春休みとなり、大変なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。さて、１カ月振りに元気な子どもたちの声が園庭に戻ってきました。旧園舎に張り出した学級名簿を、親子で一喜一憂しながら、“どの学級かな？”“担任は誰かな？”“仲良しの友達はいるかな？”という思いで見つめる新年度の光景は、本幼稚園の風物詩のようでもあります。私が、初めてこの光景に接した時、まるで、有名校の合格発表を見るような感じでした。自分の名前が読める子どもたちは、自分の名前を探し、新しい学級、クラスの友達、担任の先生が分かると、安心したのか新しい学級へ駆け出していきました。保護者の皆様も安堵した様子でした。旧園舎で入園式を済ませ、真新しい仮園舎に移動しましたが、保護者の方や職員の感想は、「思ったよりも明るくてきれい」「年少さんの教室は、旧園舎の教室よりも広い」「年少教室のスライディング・ウォールもいい」「トイレや教室内の手洗いもきれい」の声が聞かれ、仮園舎の方が素敵であるといった感想が大半でした。いかに、旧園舎が老朽化していたかということでしょう。兎に角、雨の心配をせずに済むこと、明るくてきれいなところは、今のところ快適です。初めて２階で過ごすことになる年長さんは、眺めがよいのに満足していたようです。これから１年間、新園舎建築を楽しみにしながら、仮園舎で生活をしていくことになりますが、生活をしていくうちに、行事や活動で、使いづらいところや困ったことが出てくると思います。その時は、臨機応変に対応し、子どもたちが楽しいと思えるように工夫していきたいと思います。　　　　　　H:\DCIM\100NCD60\DSC_0092.JPGうちの子はどの組かな？ | H:\DCIM\100NCD60\DSC_0103.JPG80人の新しいお友だち、ようこそ　前日の雨が嘘のように晴れ、暖かな春の日差しを浴びた１８日に、７２名の年少さん、８名の年中さんの新しい友達を迎えて、入園式を行いました。今年は、式の最中に、泣いたりぐずったりする子どもがいなくて、比較的静かな雰囲気の中で、来賓の方や私の話を聞くことができました。これまで見てきた幾つかの保育園や幼稚園の入園式に比べて、とても落ち着いていたように思いました。おそらく、大半が、たんぽぽ学級に在園していたことや弟妹児として幼稚園で遊び、教職員の顔を知っていたからだと考えられます。学級では、担任の先生から、早速、読み聞かせや明日からの幼稚園での過ごし方などの話を聞き、幼稚園を大いに気に入ってくれたようです。入園式翌日からの２日間は、新入園児がなるべく早く幼稚園に慣れるようにすること、興味を持つようにすることなどのいろいろな意味があって、新入園児のみの登園となっています。子どもたちは園庭や百年の森、響流の森で楽しい時を過ごしました。入園式で話した『４つの約束』をしっかり守っているかのようで、みんな仲良く遊び、あちこちで、「これ貸して？」「いいよ！」の声が聞かれ、嬉しく思いました。桜満開の日の園庭開放の風景H:\DCIM\100NCD60\DSC_0057.JPG　今年が一部見納めになる桜を名残惜しむかのように、大勢の人が来てくださいました。新園舎の関係で、正門から4本の桜が伐採されるようです。♪桜、桜、今咲き誇り♪ |
|  |  |